

彼方へ——

東御市梅野記念絵画館館長 佐藤 修

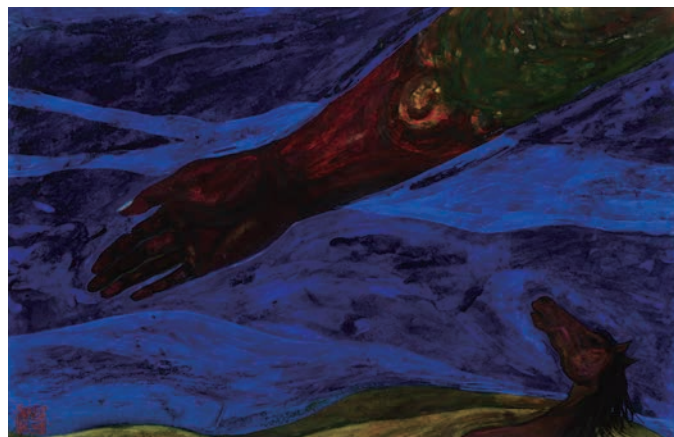
篠原道生は、当館で毎年開催される「私の愛する一点展」の第11回展(平成23年10月)でその作品が1点紹介され、観覧者の大きな反響を呼びました。32歳で自死したという衝撃的な事実もさることながら、作品から窺える、画家としての魂の圧倒的な純粋さが観る者の胸を打ったのでありましょう。

画家の死の翌年(1993年)に東京の画廊で遺作展が開催されて以来20年が経過しました。残念ながら篠原道生の名は忘れられようとしています。

20年ぶりの展示ですが、作品は歳をとりません。画家の魂は絵に塗り込められたままです。一濃すぎる赤は画家の感情のうねり。見据え、身構え、肩肘張ってはいても、崩れそうな危うさ。揺れて漂う空気。重い匂い。一キャンバスはそのまま詩だと思えます。

それにしても、画家はふいに飛翔しました。旅を急ぐように彼岸への橋を渡らせたものは何だったのでしょうか。その刹那、彼は求め焦がれていた確かな何かを手に入れたのでしょうか。彼がよく描いた、長い腕を伸ばして、命と引きかえにそれを掴むことができたのでしょうか。

——若くして逝った画家の魂の軌跡です。ご高覧ください。



手と馬 1991年(個人蔵)

### 2013年展覧会スケジュール

変更となる場合もございます。

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
大展示室	生誕110年 文人画家 冬青 小林勇展 8/31~10/20	荘司貴和子展 10/26~1/13				収蔵作品整理の 為閉館	梅野 コレクション展 2/15~3/30					
ふれあい館	早世の画家 シリーズIV 篠原道生展 8/31~10/20	私の愛する一点展 10/26~1/13				今西中通展 2/15~3/16						2014年度分は、 追ってお知らせいたします。

### 2013年イベントスケジュール

変更となる場合もございます。

- 9/7(土) バスツアー(池袋発着) 要予約 5,000円(入館料別)  
14:00~15:00 「父を語る」 小松美沙子  
15:30~16:30 ミニパーティ 詳細はお問い合わせください
- 10/6日(日) 「冬青小林勇を語る」 小池邦夫 要予約 入館料のみ  
14:30~15:30
- 10/12(土)~13(日) 火のアートフェスティバル(ワークショップを多数開催)

### 施設情報、開館案内

とうみし

東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1

TEL0268-61-6161、FAX0268-61-6162、umenokinen@ueda.ne.jp

開館時間 午前9時~午後5時(16:30迄にご入館ください)

入館料 800円(高校生以上) 15名以上団体700円  
身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。

休館日 9月2、9、17、24、30日 10月7、15日

### アクセス

お車 練馬ICから2.5時間



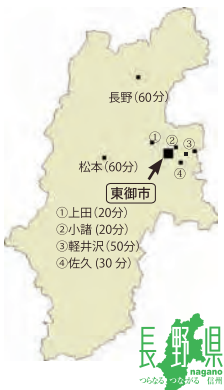
鉄道 東京から最速2時間  
しなの鉄道「滋野」下車、タクシー10分

◆関東、北陸方面から  
上信越道東部湯の丸インターから15分

◆関東、北陸方面から  
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、滋野下車。

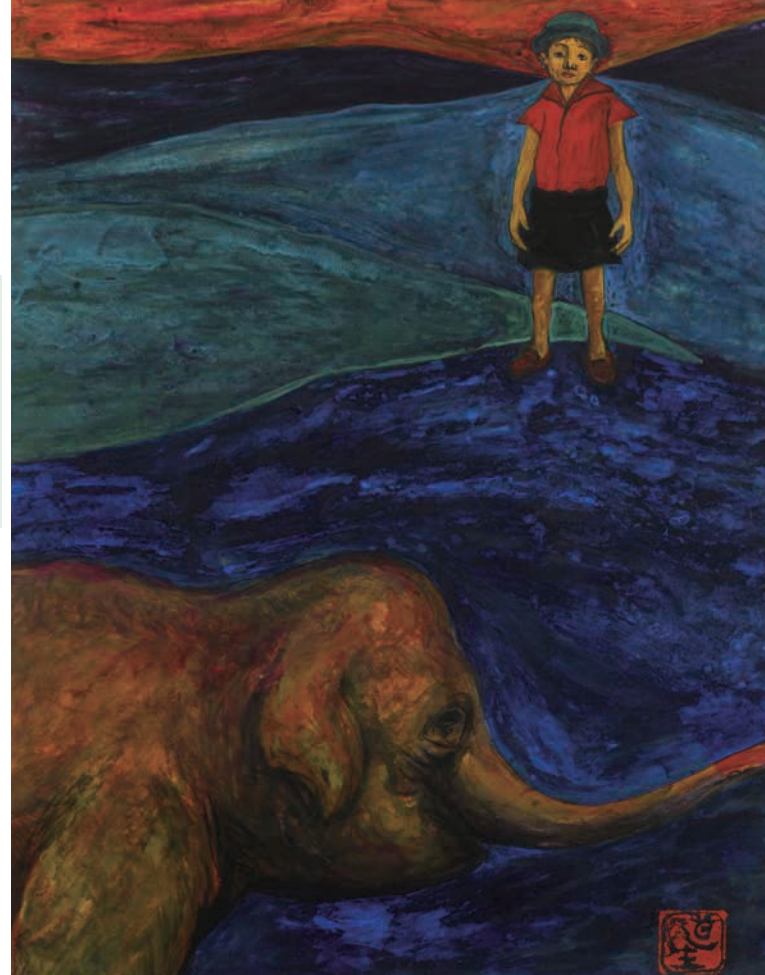
◆中部、関西方面から  
長野道岡谷インターから新和田トンネル、  
R142号経由で約1時間

◆中部、関西方面から  
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、滋野下車



地域の情報をラジオで発信!  
エフエムとうみ 78.5MHz

リクエスト、メッセージは  
m@fmtomi785.jp



少年と象 1989年(個人蔵)

早世のアーティストたちIV

## 篠原道生展

2013年  
8月31日(土) → 10月20日(日)

同時開催 生誕110年 冬青 小林勇展  
文人画家

梅野記念絵画館  
www.umenokinen.com

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 TEL 0268-61-6161 午前9時~午後5時 月曜休館



篠原道生 略年譜

- 1960年(昭和35) 栃木県足利市に、父全一、母直子の長男として生まれる。
- 1964年(昭和39) 東京都青梅市の大東農場に移転。
- 1967年(昭和42) 港区北青山の大東塾に移転。区立青山小学校入学。
- 1973年(昭和48) 青山小学校卒業。将来の夢として、絵描きになりたいと書き残す。区立青山中学校入学。バレーボール部で活躍、3年次にはキャプテンを務める。
- 1976年(昭和51) 青山中学校卒業。都立青梅東高等学校入学。親元を離れ、大東農場において大東塾塾生としての生活を始める。3年の時、美術部に籍を置く。
- 1979年(昭和54) 青梅東高等学校卒業。東京藝術大学受験。水道端美術学校に学ぶ。
- 1981年(昭和56) 多摩美術大学油絵科入学。写真にも惹かれいつもカメラを持ち歩く。大学の友人とバンドを組み、ベースギターを担当。
- 1985年(昭和60) 3月、大学アトリエ内で個展。多摩美術大学卒業。4月、多摩美術大学大学院入学。グループ展「パズルワールド」出品(神奈川県民ホール)。「'85表現の現場展」出品(多摩美大上野毛校舎)。
- 1986年(昭和61) 「上野毛図鑑'86表現の現場展」出品(上野毛校舎)。
- 1987年(昭和62) 多摩美術大学大学院修了。4月、大学院修了制作展(世田谷美術館)。3月～7月、イタリアに滞在。以後、生活の糧を得るためのアルバイトをする以外は、制作に没頭する。
- 1989年(平成元) 5月8日～6月30日、個展(八王子Cafe HARCOTS VERTS)。
- 1990年(平成2) 伊豆美術祭絵画公募展入選(伊東市観光会館別館 油彩30号「ほんとうの話」)。個展(八王子Cafe HARCOTS VERTS)。京都国際美術センター編集「現代美術メッセージ'90」に紹介される。
- 1991年(平成3) 6月に個展「狂言の下僕」(八王子Cafe HARCOTS VERTS)。11月個展(八王子Cafe HARCOTS VERTS)。
- 1992年(平成4) 12月10日早朝、逝く。
- 1993年(平成5) 11月6～17日、遺作展(ギャラリー轍・銀座)。

参考:『篠原道生遺作展/図録』(1993年有限会社画廊・轍刊)。



緑の屏の前に 1990年(個人蔵)



長い一日のたわむれ 1990年(個人蔵)



ジゴク行 1990年(個人蔵)



無題 1989年(個人蔵)



男の顔 1989年(個人蔵)



青き女 1990年(個人蔵)